

総会を日本に誘致するに当たり、若手研究者の旅費負担を軽減するための措置が強く要望されました。一方、アジアや発展途上国の学者の総会参加を支援する体制の整備にも国際的な期待が寄せられました。このため本総会の資金計画では、参加補助のグラント制度の費用として5000万円が計上されています。

参加支援体制が整備されれば、この大会の参加者は5000名に達するものと見込まれております。大会経費は基本的に参加者の参加登録費と、政府・地方自治体からの資金で賄われ、経費節減のため、関係者一同あらゆる方法で努力を重ねておりますが、国際的な支援体制については減額が困難であり、現状ではかなりの

収入不足が予想されます。

このような状況を打開するため、個人・法人の皆様への御理解と御援助をお願い申し上げる次第でございます。募金は主として国際支援グラントのために用いられる計画になっております。諸経費御多端の折柄、誠に恐縮ではありますが、この国際会議は我が国の地球科学の実力を世界に提示する絶好の機会であり、その成果は21世紀の測地学・地球物理学・惑星科学研究の発展に大きく資するものであることをご高察いただき、是非ともご支援を賜りますよう、切にお願い申し上げます

以上



## 教官（筑波大学地球科学系）の公募

当学系では、下記により教官を公募することになりました。

記

1. 公募人員：教授1名
2. 所 属：筑波大学地球科学系
3. 担 当：大気科学分野に関連する大学院教育、気候学および気象学分野に関連する学群教育（学部相当）
4. 応募資格：博士の学位を取得していて、気候学、気象学あるいは大気科学のいずれかに精通していることが応募の条件になります。着任後は上記の分野に関連する大学院・学群の授業および研究指導を担当していただきます。担当していただく予定の授業科目は、大学院では地球環境科学特論、大気科学野外実験、大気環境学など、学群（学部相当）では気候学・気象学、同演習、同実験、同野外実験など（他の教官との分担科目を含む）の予定です。

5. 採用予定日：平成15年6月1日

6. 提出書類：

- ・履歴書（形式は自由）1通
- ・研究業績リスト（査読付き学術論文とその他を分けて記載すること）1通
- ・主要論文10編の別刷またはコピー
- ・これまでの研究の概要（1000字程度）
- ・着任後の教育と研究に対する抱負（1000字程度）

7. 公募締切日：平成15年2月28日（必着）

8. 書類提出先：〒305-8571 つくば市天王台1-1-1

筑波大学地球科学系長 木股三善

「教官応募書類」と朱書した上、簡易書留にて郵送のこと

9. 選考方法：書類選考、ただし必要に応じて面接を行うことがあります

10. 問い合わせ先：地球科学系 木村富士男

Tel：0298-53-4430（直通）

E-mail：fkimura@atm.geo.tsukuba.ac.jp